

R4年度 6年1組の大岡の時間の学びを発信します！

横浜捺染手拭いで 150周年をお祝いしよう！



濱文様のK社長にインタビューすると、ある子がこのように語りました。「特にすごいと思ったのは、手ぬぐいは古い商品ではなく進化し続ける新しい商品だということです。私たちのテーマの「愛→伝統」「進化」と似ていると思いました。K社長から大切なことを教わりました。それは、手ぬぐいを飽きさせないために発想を広げる、進化することを恐れないということです。進化を恐れないとは、失敗を恐れないという意味だと思います。自分も委員会の委員長にチャレンジして、今は良かったと思っています。」子どもたちは、伝統や古いものへの理解を深めました。同時に、大岡小学校が地域に愛され、子どもと大人が創り上げる学校だという素晴らしさにも気付きました。手ぬぐいは地域の関係者にも約100枚販売しました。売上金は、学校に行けない子どものために使ってほしいという願いから、ユニセフに募金します。